

登録博物館等における外国人見学者の受入れ体制等に関する現状把握調査の結果について

## 1. 調査の背景

現在、我が国におきましては、観光立国の実現を目指して、ビジット・ジャパン・キャンペーンを展開し、訪日外国人旅行者を2010年までに1000万人とすることを目標に掲げています。また、観光立国推進基本法に基づく観光立国推進基本計画が、平成19年6月に我が国初のマスタープランとして、閣議決定されました。

同基本計画では、「博物館・美術館等における外国人への対応の促進」として「国、独立行政法人等、都道府県立の博物館・美術館における外国人向け案内の整備状況は、現状では5割程度であり、その多言語化の向上を図るほか、博物館・美術館紹介パンフレットやホームページを多言語で作成し、案内所において多言語で対応するなど、外国人にも分かりやすい情報の提供を行う。また、外国人向け観光情報誌に、館の紹介・展覧会情報等を掲載するなど、地元の地方公共団体の観光関係部局、観光協会等と連携して情報発信等の充実を図る。」とされています。

そのため、国土交通省と文部科学省では、平成19年12月に、国、独立行政法人、国立大学法人、都道府県立の登録博物館（※1）及び博物館相当施設（※2）における外国人見学者の受入れ体制等に関する現状を詳細に把握することを目的として、アンケート調査を行いました。この度、その結果を公表いたします。

※1 登録博物館：博物館法に基づき、博物館資料、職員、施設、事業内容等に係る都道府県教育委員会による審査を経た上で、国民の教育、学術、文化の発展に寄与するものとして登録されたもの。

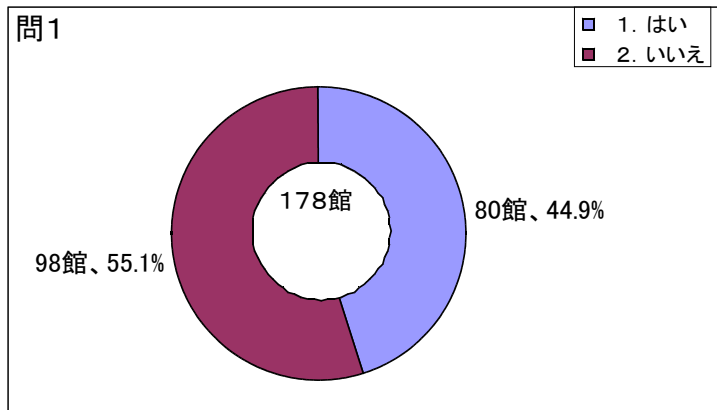
※2 博物館相当施設：博物館法に基づき、登録博物館の事業に類する事業を達成するために必要な博物館資料、職員、事業内容等に係る国又は都道府県教育委員会の審査を経た上で、博物館に相当する施設として指定されたもの。

## 2. 調査の結果

国、独立行政法人、国立大学法人、都道府県立の登録博物館及び博物館相当施設に、アンケートを送付した結果、対象となる全館の178館から回答がありました。

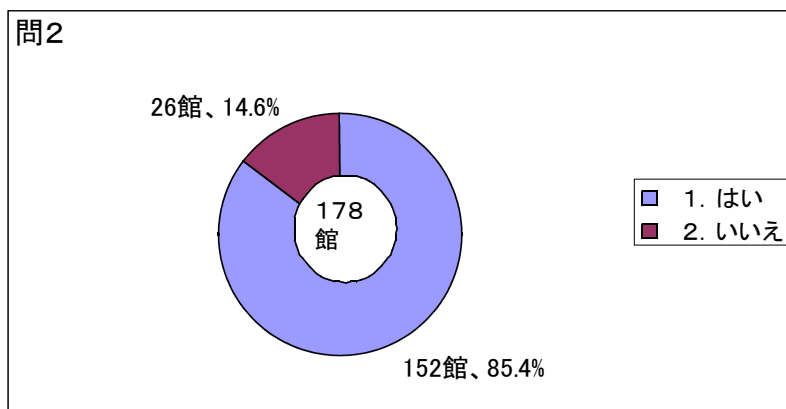
### 【館内の案内表示】

（問1）入口、出口、トイレ、順路など、館内の案内表示について、外国語による表記がされているかを聞いたところ、「はい」80館（44.9%）、「いいえ」98館（55.1%）でした。



うち国、独立行政法人、国立大学法人立（以下「国立等」という。）の館については、「はい」9館（37.5%）、「いいえ」15館（62.5%）で、そのうち「いいえ」と回答した多くは、国立大学法人立（13館）でした。都道府県立の館については、「はい」71館（46.1%）、「いいえ」83館（53.9%）でした。

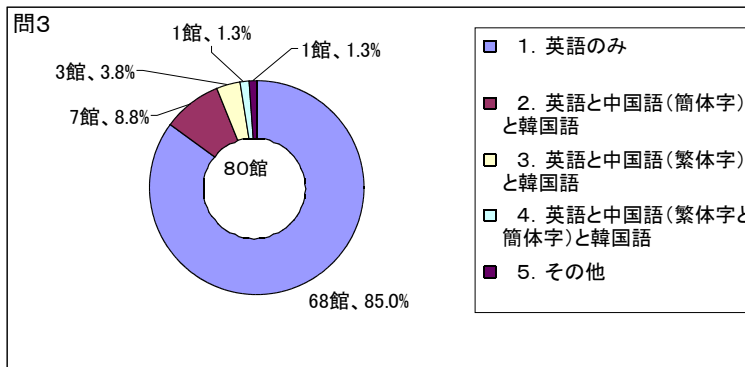
（問2）トイレ、車イス、撮影禁止など、館内の案内表示について、ピクトグラム（絵文字）による表記がされているかを聞いたところ、「はい」152館（85.4%）、「いいえ」26館（14.6%）でした。



うち国立等の館については、「はい」16館（66.7%）、「いいえ」8館（33.3%）で、都道府県立の館については、「はい」136館（88.3%）、「いいえ」18館（11.7%）でした。

館内の案内表示については、外国語による表記よりもピクトグラムが採用されていることが分かりました。

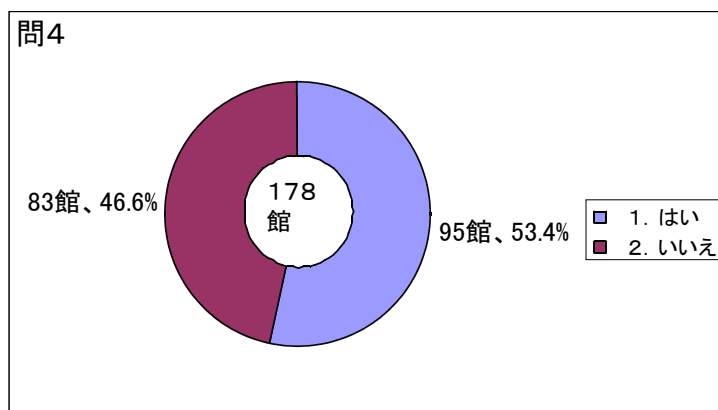
（問3）問1で、外国語による表記をしているとした館について、何語の表記をしているかを聞いたところ、「英語のみ」68館、「英語と中国語（簡体字）と韓国語」7館、「英語と中国語（繁体字）と韓国語」3館、「英語と中国語（繁体字と簡体字）と韓国語」1館、「その他」1館でした。「その他」の内容は、「韓国語のみ」でした。



うち国立等の館については、「英語のみ」6館、「英語と中国語（簡体字）と韓国語」3館、で、都道府県立の館については、「英語のみ」62館、「英語と中国語（簡体字）と韓国語」4館、「英語と中国語（繁体字）と韓国語」3館、「英語と中国語（繁体字と簡体字）と韓国語」1館、「その他」1館でした。以上のように、英語以外の言語については対応がまだ十分ではないことが分かります。

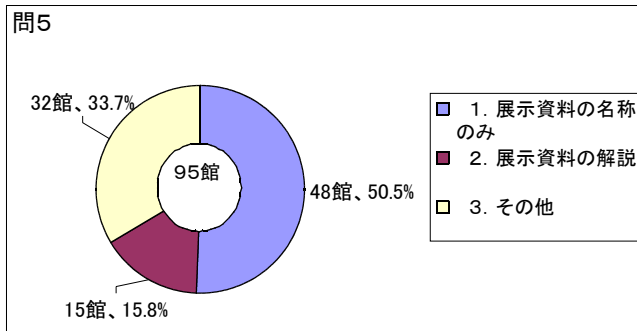
#### 【展示資料】

（問4）館内の展示資料（例えば、美術館であれば、絵画等）について、外国語による表記がされている（タッチパネル等による表示も含む）かを聞いたところ、「はい」95館（53.4%）、「いいえ」83館（46.6%）でした。



うち国立等の館については、「はい」13館（54.2%）、「いいえ」11館（45.8%）で、都道府県立の館については、「はい」82館（53.2%）、「いいえ」72館（46.8%）でした。

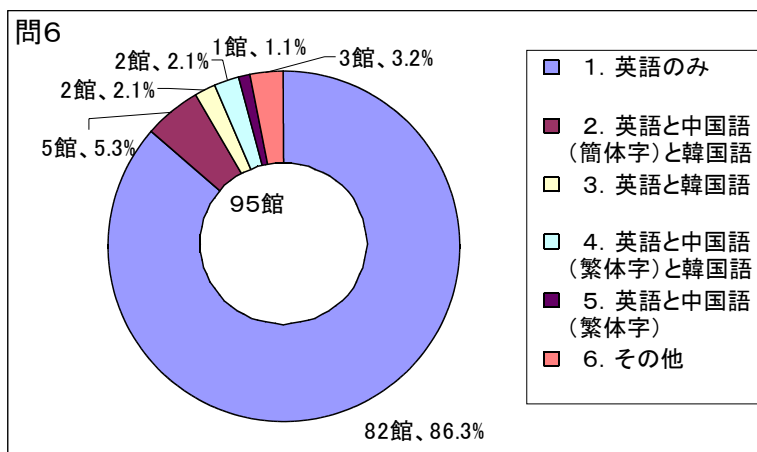
（問5）問4で、外国語による表記をしているとした館について、具体的には何について外国語による表記をしているかを聞いたところ、「展示資料の名称のみ」48館、「展示資料の解説」15館、「その他」32館でした。



うち国立等の館については、「展示資料の名称のみ」4館、「展示資料の解説」2館、「その他」7館で、都道府県立の館については、「展示資料の名称のみ」44館、「展示資料の解説」13館、「その他」25館でした。

「その他」の内容は、「展示趣旨」や「タッチパネル」などでした。

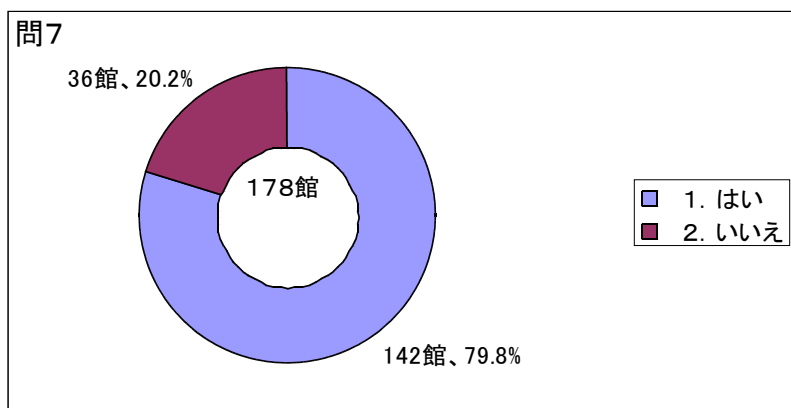
(問6) 問4で、外国語による表記をしているとした館について、何語の表記をしているかを聞いたところ、「英語のみ」82館、「英語と中国(簡体字)と韓国語」5館、「英語と韓国語」2館、「英語と中国語(繁体字)と韓国語」2館、「英語と中国語(繁体字)」1館、「その他」3館でした。



うち国立等の館については、「英語のみ」11館、「英語と中国語(簡体字)と韓国語」1館、「その他」1館で、都道府県立の館については、「英語のみ」71館、「英語と中国語(簡体字)と韓国語」4館、「英語と韓国語」2館、「英語と中国語(繁体字)と韓国語」2館、「英語と中国語(繁体字)」1館、「その他」2館でした。

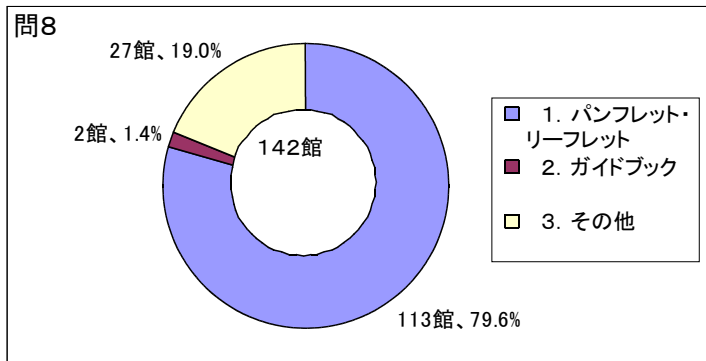
### 【パンフレット】

(問7) 館を紹介するパンフレット等を外国語で作成しているかを聞いたところ、「はい」142館(79.8%)、「いいえ」36館(20.2%)でした。



うち国立等の館については、「はい」18館(75.0%)、「いいえ」6館(25.0%)で、都道府県立の館については、「はい」124館(80.5%)、「いいえ」30館(19.5%)でした。

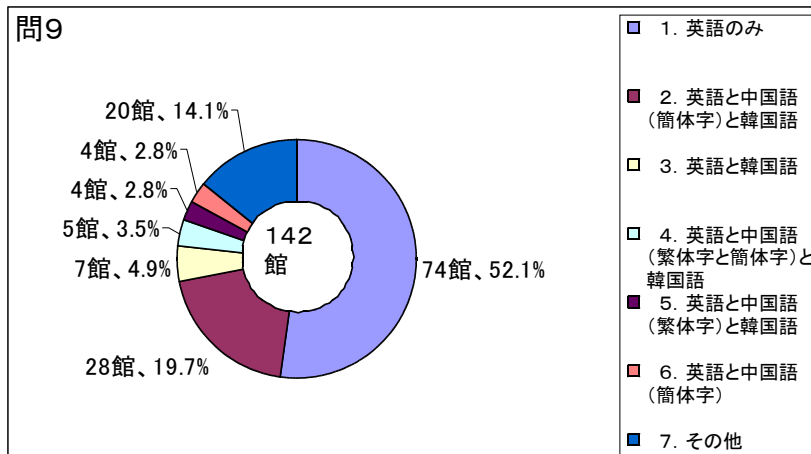
(問8) 問7で、パンフレット等を外国語で作成しているとした館について、具体的には何を作成しているかを聞いたところ、「パンフレット・リーフレット」113館、「ガイドブック」2館、「その他」27館でした。



うち国立等の館については、「パンフレット・リーフレット」10館、「その他」8館で、都道府県立の館については、「パンフレット・リーフレット」103館、「ガイドブック」2館、「その他」19館でした。

「その他」の内容は、パンフレット・リーフレットに加えてガイドブックを作成している事例や施設の概要に関して作成している事例などでした。

(問9) 問7で、パンフレット等を外国語で作成しているとした館について、何語の表記をしているかを聞いたところ、「英語のみ」74館、「英語と中国語(簡体字)と韓国語」28館、「英語と韓国語」7館、「英語と中国語(繁体字と簡体字)と韓国語」5館、「英語と中国語(繁体字)と韓国語」4館、「英語と中国語(簡体字)」4館、「その他」20館でした。

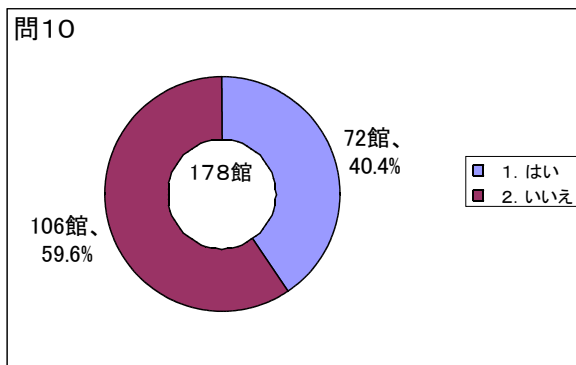


うち国立等の館については、「英語のみ」8館、「英語と中国語（簡体字）と韓国語」3館、「英語と中国語（簡体字）」1館、「英語と韓国語」1館、「その他」5館で、都道府県立の館については、「英語のみ」66館、「英語と中国語（簡体字）と韓国語」25館、「英語と韓国語」6館、「英語と中国語（繁体字と簡体字）と韓国語」5館、「英語と中国語（繁体字）と韓国語」4館、「英語と中国語（簡体字）」3館、「その他」15館でした。

「その他」の内容は、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、ロシア語でした。

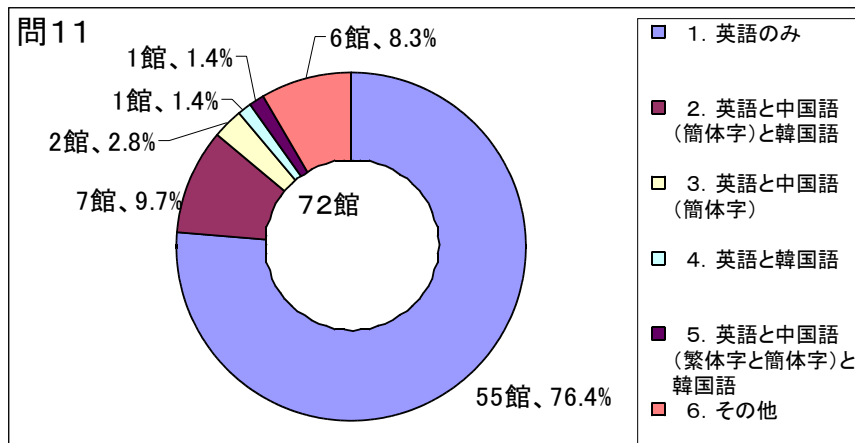
#### 【ホームページ】

（問10）館を紹介するホームページを外国語で作成しているか聞いたところ、「はい」72館（40.4%）、「いいえ」106館（59.6%）でした。



うち国立等の館については、「はい」14館（58.3%）、「いいえ」10館（41.7%）で、都道府県立の館については、「はい」58館（37.7%）、「いいえ」96館（62.3%）でした。外国語での作成については対応がまだ十分ではないことが分かります。

（問11）問10で、ホームページを外国語で作成しているとした館について、何語の表記をしているかを聞いたところ、「英語のみ」55館、「英語と中国語（簡体字）と韓国語」7館、「英語と中国語（簡体字）」2館、「英語と韓国語」1館、「英語と中国語（繁体字と簡体字）と韓国語」1館、「その他」6館でした。

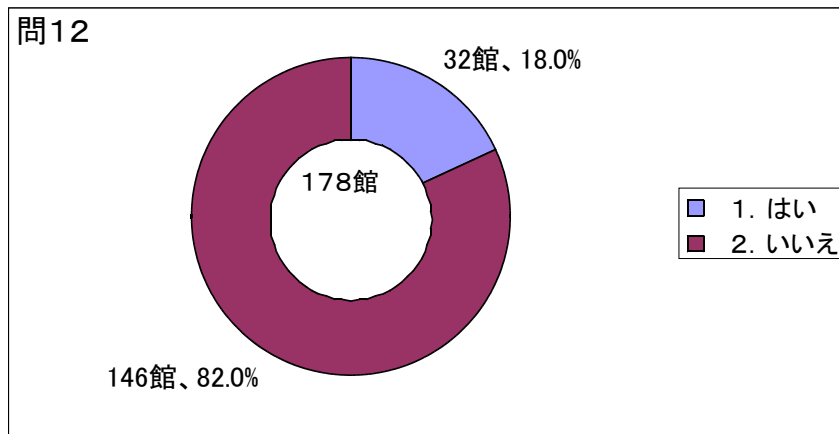


うち国立等の館については、「英語のみ」9館、「英語と中国語（簡体字）」1館、「その他」4館で、都道府県立の館については、「英語のみ」46館、「英語と中国（簡体字）と韓国語」7館、「英語と中国語（簡体字）」1館、「英語と韓国語」1館、「英語と中国語（繁体字と簡体字）と韓国語」1館、「その他」2館でした。

「その他」の内容は、スペイン語、ロシア語でした。

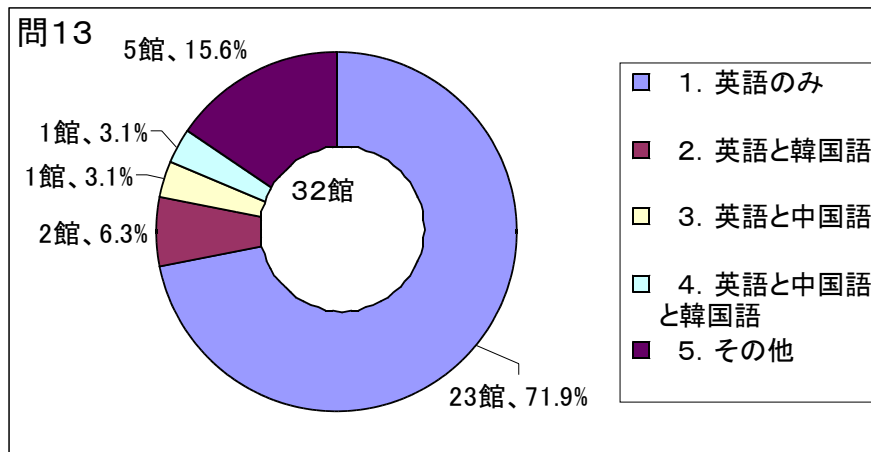
【案内所】

（問12）館の案内所（窓口）において、外国語で対応できる者を配置しているか聞いたところ、「はい」32館（18.0%）、「いいえ」146館（82.0%）でした。



うち国立等の館については、「はい」10館（41.7%）、「いいえ」14館（58.3%）で、都道府県立の館については、「はい」22館（14.3%）、「いいえ」132館（85.7%）でした。

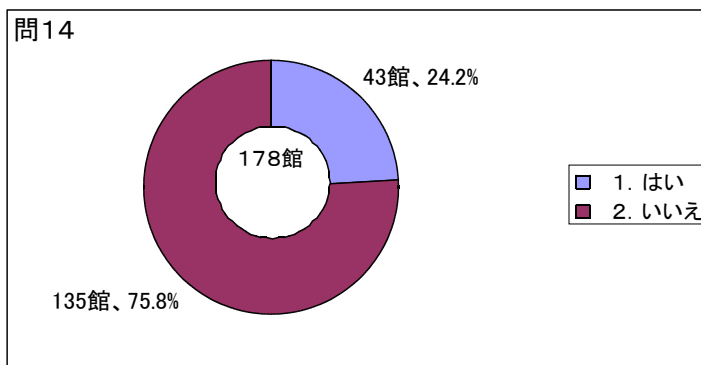
（問13）問12で、館の案内所（窓口）において、外国語で対応できる者を配置しているとした館について、何語の対応をできる者を配置しているかを聞いたところ、「英語のみ」23館、「英語と韓国語」2館、「英語と中国語」1館、「英語と中国語と韓国語」1館、「その他」5館でした。



うち国立等の館については、「英語のみ」6館、「英語と中国語」1館、「その他」3館で、都道府県立の館については、「英語のみ」17館、「英語と韓国語」2館、「英語と中国語と韓国語」1館、「その他」2館でした。

【観光情報誌】

(問14) 外国人向け観光情報誌に、館の紹介や展覧会情報等を掲載したことがあるか聞いたところ、「はい」43館(24.2%)、「いいえ」135館(75.8%)でした。



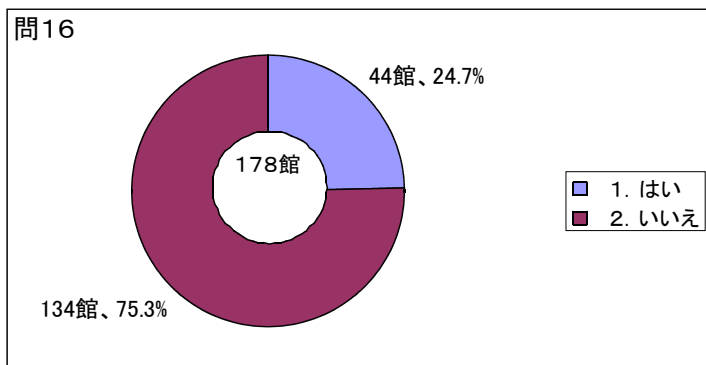
うち国立等の館については、「はい」9館(37.5%)、「いいえ」15館(62.5%)で、都道府県立の館については、「はい」34館(22.1%)、「いいえ」120館(77.9%)でした。

(問15) 問14で、外国人向け観光情報誌に、館の紹介や展覧会情報等を掲載したことがあるとした館について、情報誌名や何語で書かれたものかを聞いたところ、「Tokyo Art Beat (英語)」、「にっぽにあ (英語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語、ロシア語等)」、「MEET OSAKA (英語)」、「京都市内博物館ガイドブック (英語)」、「JAL国際線機内誌 (英語)」、「Japan Times (英語)」、「International Press (スペイン語)」、「Lonely planet (英語)」、「福岡ウェルカムカードガイドブック (英語、中国語 (繁体字、簡体字)、韓国語)」などの回答がありました。



### 【情報発信のための連携】

(問16) 外国人に対して、館の情報を発信するために、地方公共団体や観光協会と連携して取り組んだ実績はあるか聞いたところ、「はい」44館(24.7%)、「いいえ」134館(75.3%)でした。

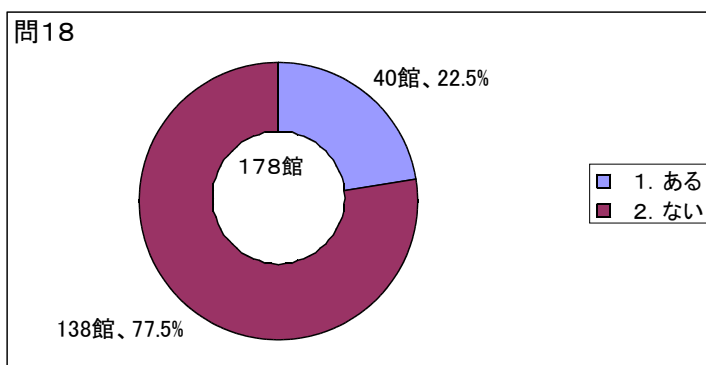


うち国立等の館については、「はい」7館(29.2%)、「いいえ」17館(70.8%)で、都道府県立の館については、「はい」37館(24.0%)、「いいえ」117館(76.0%)でした。

(問17) 問16で、外国人に対して、館の情報を発信するために、地方公共団体や観光協会と連携して取り組んだ実績はあるとした館について、連携した相手やどのように情報を発信したかを聞いたところ、「東京都：東京都発行の観光マップへの掲載」、「京都市内博物館施設連絡協議会：京都市内博物館ガイドブック(英語)の作成」、「企画展に関連する各国大使館：企画展の広報」、「財団法人横浜観光コンベンションビューロー：財団発行のガイドブックに施設を紹介し、観覧料の割引クーポンを発行、外国のメディア・旅行会社の招聘事業でプレゼンテーションを行った」、「大阪府：FM ラジオの外国人向け情報番組(5か国語)において、イベント等の情報を発信」、「福岡観光コンベンションビューロー：福岡ウェルカムカードガイドブックへの情報掲載」などの回答がありました。

### 【その他の施策】

問18 外国人見学者の受入について、設問以外に実施している施策があるか聞いたところ、「はい」40館(22.5%)、「いいえ」138館(77.5%)でした。



うち国立等の館については、「はい」9館（37.5%）、「いいえ」15館（62.5%）で、都道府県立の館については、「はい」31館（20.1%）、「いいえ」123館（79.9%）でした。

施策の内容は、「国土交通省主催の『YŌKOSO！JAPAN WEEKS』に参加し、そのキャンペーン期間に外国人への平常展割引を実施した」、「有料で常設展示の英語、中国語、韓国語の音声ガイドを貸し出している」、「ボランティアによる英語での解説」、「要望に応じての職員（研究員）による展示解説」、「音声ガイドの無料貸し出し（英語、中国語、韓国語、ロシア語）」、「館職員の英会話研修及び館内での声掛け案内」などの回答がありました。

### 3. まとめ

アンケート結果から、各館はそれぞれ工夫をしつつ、外国人見学者の受入れ体制を整備していることが読み取れるものの、今後、観光立国推進基本計画に掲げられた目標を達成するためには、博物館の設置者と館が取組を一層進めることが期待されます。

最後になりましたが、アンケート調査に御協力いただいた各館、各都道府県教育委員会に対して心から感謝いたします。